

# 「洞爺湖有珠山ジオパーク」を 世界ジオパークに

- 第4回 -



企画防災課 ☎74-3004

## 地域の遺産を世界の遺産へ

# 「洞爺湖有珠山」ジオパークのセミナー

「洞爺湖有珠山ジオパーク」を観光振興に役立てようとジオパーク委員会を設置した洞爺湖温泉観光協会(若狭洋市会長)が6月8日岡田弘北海道大学名誉教授を招いて、世界ジオパークについてのセミナーを行いました。同メンバーや地域住民ら約80人が参加して、ジオパークについて理解を深めました。

岡田名誉教授は、世界遺産とジオパークの違いや海外の登録地での実践的活用例などを説明。「洞爺湖有珠山ジオパーク」の遺産価値

についても、「火山の恵とリスクが共存する世界でも稀有な地域である」ことを述べ、地域振興にとっても世界ジオパーク登録が大きな力になることを訴えました。

6月25日には、実際に同ジオパークを体感してもらおうと現地学習会「宇井教授と歩く四十三山フットパス」(主



ジオパークの意義を訴える岡田弘北大名誉教授

催洞爺湖温泉観光協会ジオパーク委員会=小川裕司委員長)が行われました。

町内のホテルや飲食店など観光関係者を中心に35人が参加。目と足で体験し世界ジオパーク登録後の観光への活用を探ろうと、来年の洞爺湖温泉誕生100年の原初である四十三山フットパスコース約4を巡りました。

ガイドを務めた宇井北海道名誉教授は、1910年(明治43年)の噴火でできた四十三山の形成過程など、同フットパスコースのポイントを詳しく説明し、参加者も真剣な表情で聞き入っていました。

## 洞爺湖温泉観光協会ジオパーク委員会

- 委員長 小川 裕司(洞爺ガイドセンター)  
副委員長 柴田 賀正(柴田屋)  
委員 今井 実(洞爺湖畔亭)  
濱野 清正(洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラス)  
来栖 正光(ホテルグランドトーヤ)  
三浦 和則(洞爺観光ホテル)  
中村 敏之(旅館青年部=大和旅館)  
斉藤 仁美(有珠山ガイドの会=チャイナタウン)  
高臣 陽太(月香)  
永井 信久(ゆうもあ亭)  
竹澤 幹雄(NPO洞爺にぎわいネットワーク)  
事務局 後藤 洋子(洞爺湖温泉観光協会観光ディレクター)

(敬称略)